

医療用麻薬の自記式服薬記録の 活用と運用方法について

2022年11月2日

聖マリアンナ医科大学病院

薬剤部

がん診療連携拠点病院 指定要件

2. 診療体制

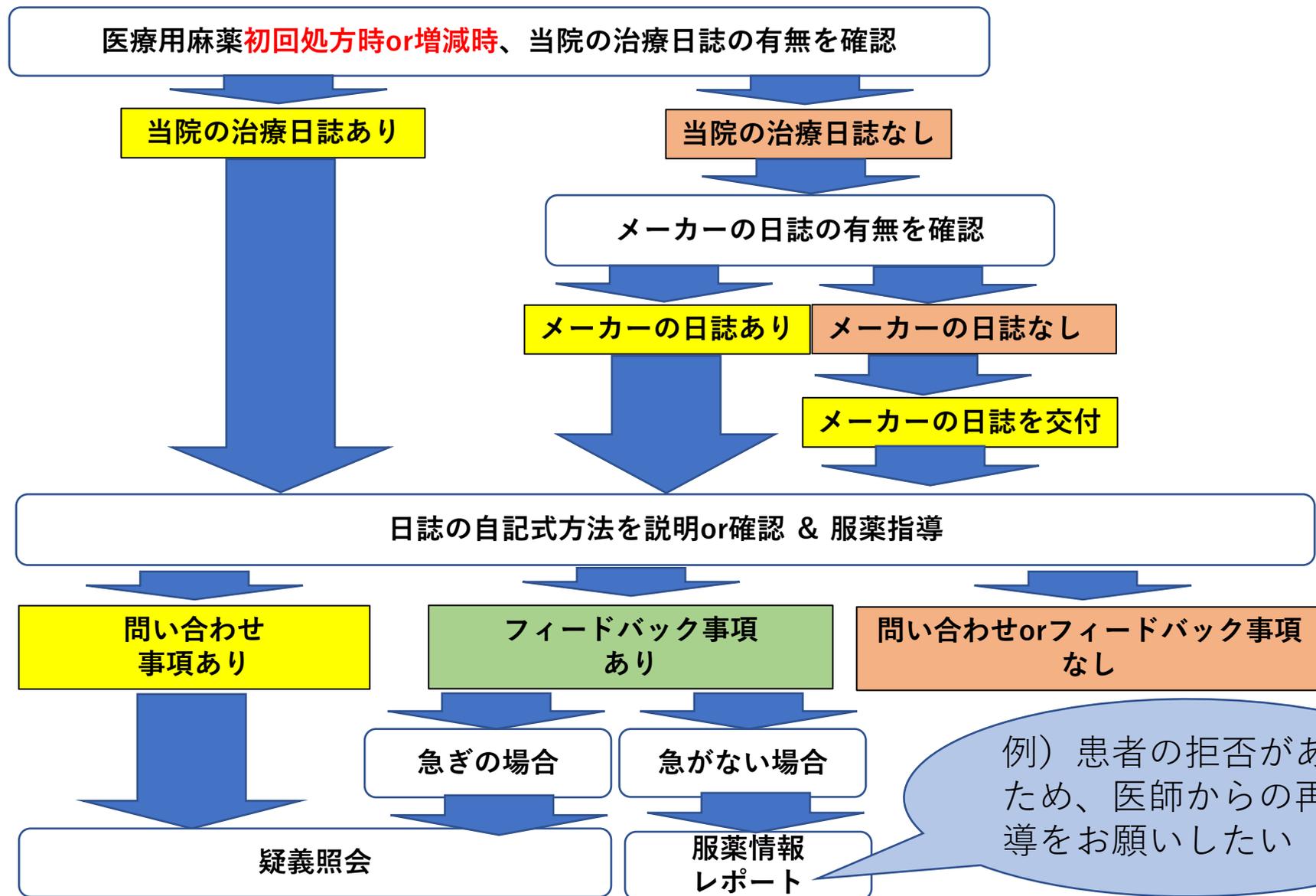
(1) 診療機能

③ 緩和ケアの提供体制

- 医療用麻薬等の鎮痛薬の**初回使用時や用量の増減時**には、医師からの説明とともに**薬剤師**や看護師等により、**外来・病棟を問わず医療用麻薬等を自己管理できるように指導**している。
- その際には、**自記式の服薬記録を整備活用**している。

患者の疼痛コントロールや自己管理の改善に向けて
薬局の先生方からのサポートをお願いします

医療用麻薬処方時の自記式ノートの運用方法



メーカー日誌を交付する場合

- 自記式の服薬記録が可能な日誌であれば、メーカーは問いません。処方内容と調剤した薬剤に応じて薬局側で選択ください
- 交付時に、当院の医師にも診察時の際に日誌を見せるようにご指導いただければ幸いです
- 日誌交付時にお困りのことがありましたら、服薬情報レポートにてご連絡ください

当院の日誌を使用する場合

- 腫瘍センターで治療を受けている患者様は、当院の「わたしの治療日誌」をお持ちです
- 今までの「わたしの治療日誌（通常版・ICI版）」に、痛みの評価を追加しました
- 「わたしの治療日誌」をお持ちの方は、そちらに痛みの評価を記入していただくようご説明ください

当院の治療日誌改訂について

1) 「痛みの評価表」を新たに追加

痛みの評価表 ※毎日の痛みの強さを0～10の11段階で評価してみましょう

日付	/	/	/	/	/	/	/
痛みのNRS (0～10)							
レスキュー 使用時間							

痛みの評価表 ※毎日の痛みの強さを0～10の11段階で評価してみましょう

日付	/	/	/	/	/	/	/
痛みのNRS (0～10)							
レスキュー 使用時間							

※症状や気になったことがありましたら記入してください

病院から薬局へ

記入日 (/)

前回と同様に治療を行いました
 本日は(中止・減量)です → 変更後の投与量
 理由: 血液毒性 非血液毒性 ① _____ mg
 本人希望 その他 ② _____ mg
 新規処方薬あり () ③ _____ mg
 薬剤師より説明済み ④ _____ mg

※血液検査結果は処方箋に添付または患者さんにお渡ししています

薬局から病院へ

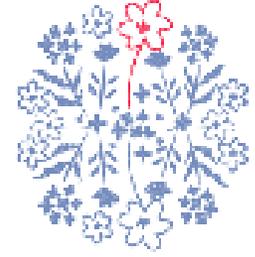
記入日 (/)

特記すべき副作用なく、報告事項はありません
 以下の内容を報告します
 (副作用、内服アドヒアランス、その他)

《症状の評価法》 (CTCAE ver5.0に基づく)
 1=軽い症状があるが普段と変わらない生活ができる
 2=症状があり、日常生活に少し影響がある
 3=症状が強く、普段通りの生活ができない
 ※症状がなければ、○の記載は不要

《痛みの評価法》
 痛みの強さは、0～10の11段階で評価してみましょう
 レスキューは、痛いときに使用し、使用時間と回数を記載します

わたしの治療日誌



お名前: _____

診療番号: _____

お医者様: _____

聖マリアナ国際医療センター

当院の治療日誌改訂について

2) 「痛みの評価表」 記載方法の説明を追記

痛みの評価表 ※毎日の痛みの強さを0~10の11段階で評価してみましょう

日付	4/11	4/12	4/13	/	/	/	/
痛みのNRS (0~10)	5	6	4				
レスキュー 使用時間	7:30 11:00 16:45	6:50 12:00 18:05	8:00 21:08				

痛みの治療について

- ◆ 痛みのあるところ ()
- ◆ 痛みのでやすい時間 ()
- ◆ 痛みの種類 ()
例) すきすき、ずーんとした、重い、など
- ◆ 痛みの強さ
毎日の痛みの強さを以下の11段階で日誌に記載しましょう
0 (まったく痛くない) ~ 10 (もっとも痛い)

現在処方されている痛み止めは、

- ①抗炎症薬 ()
- ②神経障害性疼痛治療薬 ()
- ③オピオイド
ペース () レスキュー ()
- ④その他 ()

【記入例】
痛みのNRSは一番痛い時の数字を記入しましょう
レスキューは、痛いときに使用する薬剤の使用時間と個数を記載しましょう

日付	4/11	4/12	4/13	/	/	/	/
痛みのNRS (0~10)	5	6	4				
レスキュー 使用時間	7:30 11:00 16:45	6:50 12:00 18:05	8:00 21:08				

レスキューは1時間ごとに1日何回でも使用できます。痛みに応じて、我慢せずに使用しましょう。また、使用したタイミングは毎日記載して下さい
副作用で眠気、吐き気、便秘などが起こることがあります。症状が辛いときは医師・看護師・薬剤師に相談してください

33

当院の治療日誌改訂について

3) 開院時間中の連絡先に各診療科を追記

平日 : 8:30-17:00
土曜日 : 8:30-12:30

腫瘍センター
ナースステーション
もしくは各診療科

緊急時の連絡方法

- ◆ 聖マリアンナ医科大学病院へ
困ったことがあったときは、下記にご連絡ください。
気持ち悪くて水分も摂れない
下痢が止まらない
37.5℃以上の発熱が続いている
薬の使用方法がわからない など 
- 診察券を用意する
- 代表 : 044-977-8111 に電話をかける
- 平日 : 8:30-17:00
土曜日 : 8:30-12:30
腫瘍センター
ナースステーション
もしくは各診療科
- 夜間帯・休診日
など左記以外の時間
各診療科の当直医

- ◆ 予約外受診の方法
病院本館正面玄関に入って右手の「②再診受付」または「予約外受付機」で手続きした後、各診療科の外来でお待ちください。
※受付時間 : 平日8:30-11:30 土曜日8:30-11:00
- ◆ かかりつけ薬局へ
TEL : _____ に電話をかける

➤ ご不明な点がある場合は、遠慮なく医療スタッフにお尋ねください。

相談・緊急時の電話・FAX番号

- 患者対応や運用フローに関するご相談については腫瘍センター薬剤室で対応します。

※疑義照会や処方提案については、医師に直接連絡をお願いします。

◆受付時間 平日8:30~17:00

腫瘍センター薬剤室(抗癌剤調製室)

TEL 044-977-8111(代表) 内線:80846 または 5240

服薬情報レポート送付先

FAX 044-977-5752